

ふれっぽ



稚内市立増幌小中学校 学校だより

責任者：校長 畠山博次

～様々な災害に備えるために～

「1日防災学校」を実施しました！

運動会が終わり落ち着きを取り戻した学校。夏休みまで約2か月となった6月。5人の子どもたちは、それぞれ体力づくりに、そして勉強に、集中して頑張っています。

そんな中、6月1日（木）消防署の方と稚内地方気象台の方をお招きして「1日防災学校」を行いました。この「1日防災学校」は、近年、規模が拡大してきている自然災害に対し、「学校教育活動全体を通じ、自らの安全を確保することのできる基礎的な資質・能力を身に付け、自ら進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できるようになること」を目的として行うものです。

昨年までは、消防署の指導のもと、地震による出火や津波から避難する訓練を行ってきましたが、今年度はそれに加えて稚内地方気象台の方から「津波発生装置」を使った津波の仕組みを教わり水圧を体感させてもらいました。これまでも避難訓練の後に、東日本大震災で発生した津波の映像を見ながら学習してきましたが、今回は水槽を使って体感できたことで小さな波でも、水圧がとても強くて恐ろしいということ学びました。ご家庭でも折に触れ、防災の話題とご指導のほど、よろしくお願い致します。



新体力テスト実施 !!

6月7日（水）、新体力テストを行いました。このテストは児童生徒の体力と運動能力の現状を把握し、体育・保健体育の指導に生かすことを目的としています。稚内市スポーツ協会の方に来校いただき、50m走、ボール投げ、上体起こしやシャトルランなど全部で8種目の測定を行いました。全国平均を超える記録を出した子どもも複数人いました。分析結果はご家庭にお知らせしましたので、これからの生活習慣、運動習慣の改善に生かしていただければと思います。



7月の行事予定



日	曜日	学校行事等
2	日	英語検定2次試験(面接)
3	月	小:(株)明治へ工場見学
4	火	中:カーリング授業
5	水	授業参観・懇談会
6	木	稚内養護学校との交流
8	土	管内中体連(1日目)
9	日	管内中体連(2日目)
10	月	中:振替休業(7/8分)
13	木	中:カーリング授業
21	金	1学期終業式
22	土	夏休みスタート(8/17(木)まで)

ご協力ありがとうございました!!

最後の資源物回収無事終了!!

6月7日(水)に資源物回収を行いました。今年度も、地域・保護者の皆様からたくさんの資源物を提供いただきました。

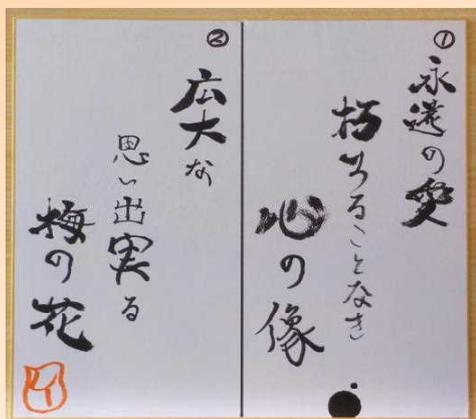
直接届けてくださった方の中には、「最後の運動会、とても楽しかったです」と子どもたちへ感謝の言葉を述べておられた方もいらっしゃいました。今回の資源物の回収金額は●●●●円でした。このお金は、児童生徒会費に繰り入れ、子どもたちの活動資金として使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。



中学3年生の俳句作品

- 最近、某TV番組の影響なのか、空前の「俳句ブーム」なのだそうです。中3国語では、俳句を勉強することになっています。先日行われた授業で中学3年生2人は「閉校を迎えて」をテーマに俳句を作りました。ぜひご鑑賞ください。

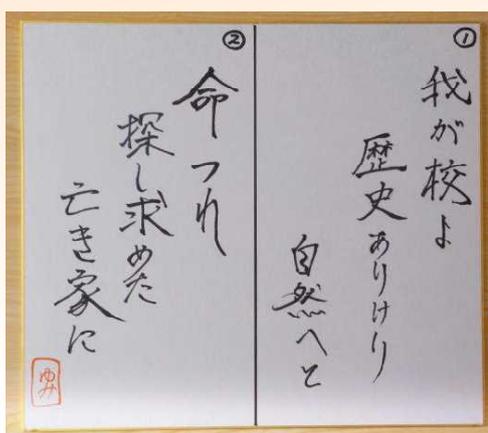
<中学3年生の作品>



解説

- ① 母校が廃校などになってしまっても、好きだった学校への思いは変わらず、永遠に自分の心に残っている。
- ② あの日、閉校になり、たくさんの思いを巡らし流した涙、こぼれ落ちた涙で、たった1つの小さな梅の木が何年も経ち、大きく成長し、たくさんの花を咲かせた梅の木。それはまるで過去の自分たちから今の自分たちへの成長を見ているように思える。あの過去は甘酸っぱい思い出だったと思う。
季語は「梅」。始まりでもあり、終わりでもある春を表す。

<中学3年生の作品>



解説

- ① 自分の学校は歴史が積もり、空の青さ、草木の匂い、虫や鳥の声を聞いて自然へと帰る様子を表しました。切れ字の「けり」により歴史がこの俳句ではいいきれないほど積もったことを表現し、美しく残るピンテーシ品であってほしいという願いを込めました。
- ② 自分が家庭を持ち小さな命(子)が誕生した時に帰ってくるのは私が育った、今はない“学校”という名の“家”であるだろうという意味です。「命」というものが「子」の偉大さを示し「亡き家に」で閉校しても忘れることのない私の財産であることを表現しました。